

群馬県 平成30年度 一般会計決算

県の決算についてお知らせします。平成30年度の決算規模は、歳入・歳出共に前年度並みとなりました。

歳入

歳入総額は7353億円で前年度に比べて3億円(0.0%)増加しました。県税収入は、企業業績の改善による法人の県民税および事業税の増や、給与所得が増加したことによる個人の県民税の増などにより49億円(2.0%)増加しました。

歳出

歳出総額は7280億円で前年度に比べて2億円(0.0%)増加しました。義務的経費のうち人件費は、教職員数の減などにより前年度に比べて45億円(2.0%)減少しました。

投資的経費は、群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」や特別支援学校の整備などにより、前年度に比べて53億円(4.3%)増加しました。その他経費は、社会保障関係経費の増などにより、補助費等が27億円増加(国民健康保険特別会計の設置・移行に伴う影響分を除く)し、前年度に比べて14億円の増となりました。

県債残高

県の借金である県債の年度末残高は、前年度に比べて158億円(1.3%)増加しました。このうち臨時財政対策債を除いた県債残高は、前年度に比べて12億円増加しました。

積立基金残高

県が自由に使える貯金に当たる積立基金(財政調整基金、減債基金)の年度末残高は、前年度に比べ8億円(6.1%)増加し138億円となりました。このうち令和元年度当初予算の財源として89億円を取り崩した他、その後の補正予算により積み立てや取り崩しを行っており、9月補正後の元年度末残高見込みは44億円と、厳しい状況が続いています。

歳出総額 7,280億円

